

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター
新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした
「施設利用ガイドライン」

ご利用者様向け

20230313 稿

2023年3月13日(月)より

「当面の期間」適用

- 施設利用に関するお問合せ -

まなみーる窓口 TEL 0126-22-4233 / info@manamiru.jp

- ガイドライン作成者 -

NPO 法人ハマナスアート

(まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理者)

■ はじめに

本ガイドラインは、まなみーる岩見沢市民会館・文化センターの施設利用に際し、新型コロナウイルスの感染拡大を防止することを目的とし、また、ご利用される皆様と施設運営スタッフの安全を確保するため、ここに策定いたします。

施設をご利用される方は、感染予防対策実施の必要性を十分ご理解いただき、本ガイドラインで定める各項目を遵守いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 目 次

p.3 収用率について

p.4 非公演型チェックリスト

(練習・講習・会議等、特定の参加者で利用する場合)

p.5-7 公演型チェックリスト

(ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合)

p.8-9 施設の取り組み

p.10 ガイドライン追記事項

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮しながら、段階的に緩和していく予定です。弊館ホームページや SNS 等で最新のバージョンをご覧くださいませようお願いします。



まなみーるホームページ

<http://manamiru.jp>



オフィシャル Facebook ページ

<https://www.facebook.com/manamiru.iwa/>

■ ホール客席の収用率について

ホール客席は収用率 100% でご利用になれます

ただし、演目や施設利用等の特性により、客席内からの歓声が起こりやすい場合や、高齢者などのハイリスク者が多い場合など、感染リスクが高い状況が想定される際には、ゆとりを持った収用率でのご利用を推奨いたします。**例：収用率 50% 以内での実施 等**

【各ホール収用率】

| | 収用率 100% | 収用率 50% |
|-----------------|-------------|------------|
| 大ホール客席 (1 階席のみ) | 781 名 | 390 名 |
| 大ホール客席 全席 | 1,165 名 | 582 名 |
| 中ホール客席 | 514 名 | 257 名 |

■ ホール舞台上の人数制限について

これまで、演目の内容によってホール舞台上の人数制限を行っていましたが、2023年3月13日(月)より人数制限を廃止いたします。なお、ご利用の際は「人と人が触れ合わない程度の距離を確保」するとともに「長時間の大きな声での会話の抑制」を図ってください。また、大きな発声や歌唱を伴う演目や、激しい呼吸がともなうダンス等は、ゆとりをもった人数配分と対人距離を確保いただくよう、対策をお願いいたします。

■ 小部屋の人数制限について

これまで、ご利用内容によって小部屋の人数制限を行っていましたが、2023年3月13日(月)より人数制限を廃止いたします。(各小部屋ごとの最大定員数でご利用可能です)なお、ご利用の際は「人と人が触れ合わない程度の距離を確保」するとともに「長時間の大きな声での会話の抑制」を図ってください。また、大きな発声や歌唱を伴う演目や、激しい呼吸がともなうダンス等は、ゆとりをもった人数配分と対人距離を確保いただくよう、対策をお願いいたします。

■ 非公演型（練習・講習・会議等、特定の参加者で利用する場合） チェックリスト

必ず確認下さい！

● 事前の体調管理

- 参加される方は事前の検温・体調管理をお願いします。
次の症状がある場合はご来館をお止め下さい。
※ 37.5 度以上の発熱（または 37.5 度未満でも平熱より高い場合）、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 等

● 感染予防対策

- 2023 年 3 月 13 日（月）以降、マスク着用については基本的には個人の判断を尊重し、一律的に着脱を強いるものではありません。一方で、催事内容や施設利用等の特性により、高齢者などのハイリスク者が多い場合など感染リスクが高い状況が想定される際には、必要に応じてマスク着用を推奨してください。
- 参加者に対しアルコール消毒液による手指消毒や咳エチケットの推奨をお願いします。
- 利用人数・貸室の大きさに応じた適切な換気をお願いします。
※ 1 時間ごとに 10 分以上の換気を目安として、可能な場合は常時換気をお願いします。
- 利用方法に応じ、人と人が触れ合わない程度の距離を確保するとともに、長時間の大きな声での会話の抑制を図ってください。
- 活動中、食事を伴う場合は、より安全対策を講じながら実施して下さい。
（参加者同士の向かい合っでの食事や飲食物のシェアはご遠慮下さい）
- p.10「ガイドライン追記事項【1】～【4】」に該当部分がある場合、記載されているルールを参考に運用して下さい。
- 窓口での消耗品（テープ・画びょう等）の貸出しは行いません。利用者様でご用意下さい。
- 活動中、体調や気分が悪くなった場合、速やかに帰宅していただきますようお願いいたします。
（窓口へ必ずご報告下さい）

| 団体名 | 参加者数 名 | | | | | | | | | |
|------------------|------------------------|-----------------------------|-----|--------|-------|-------|-----|--|--|--|
| 利用日時 | 年 月 日 () 午前 ・ 午後 ・ 夜間 | | | | | | | | | |
| 利用施設 ○を付けて下さい | 大ホール客席 | 1 階席 ・ 全席 | | | | | | | | |
| | 大ホール舞台 | 素舞台 ・ 幕舞台 ・ 反響板 | | | | | | | | |
| | 大ホール楽屋 | アーティストルーム 1 2 3 4 5 | | | | | | | | |
| | 市民会館小部屋 | 多目的室 1 2 3 リハーサル室 1 2 レストラン | | | | | | | | |
| | 中ホール客席 | 全席 | | | | | | | | |
| | 中ホール舞台 | 素舞台 ・ 幕舞台 ・ 反響板 | | | | | | | | |
| | 文化センター小部屋 | 展示室 | 音楽室 | リハーサル室 | 練習室 A | 練習室 B | 創作室 | | | |

本チェックリストにある条項を遵守した上で利用します

利用代表者（自署）

係

■ 公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合） チェックリスト

必ず確認してください

- 公演企画段階（予約段階）～公演前
 - 公演企画にあたり、3密を回避する方策の導入をお願いします。
例）開場・休憩時の延長、入場時のチケット確認の簡略化、対人距離を保った入場待機列の計画、日時や座席の指定予約による人数調整、大人数での来館の制限 等
 - p.10「ガイドライン追記事項【1】～【4】」に該当部分がある場合、記載されているルールを参考に運用して下さい。
 - 高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いため、より慎重な計画をお願いします。
 - 来場者に対し、来場前の検温の実施の要請や、来場を控えていただくケースを事前に周知して下さい。（チラシ・チケット・WEB・SNS等へ掲載）
 - 飲食を伴う公演企画の場合、より安全対策を講じた内容をお願いします。
（お客様同士の向かい合っでの食事や飲食物のシェアはご遠慮下さい）
 - 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間設定をお願いします。
 - 展覧会・販売会等で作品（商品）を展示する場合、観覧する者が密にならないよう想定し、普段よりゆとりを持った作品（商品）配置となるよう計画して下さい。
 - 消耗品（テープ・画びょう等）の貸出しは行いません。公演主催者の負担でご用意下さい。
- 公演関係者の体調管理
 - 公演関係者は入館前に自宅・滞在先ホテル等で事前の検温・体調管理をお願いします。
次の症状がある場合はご来館をお止め下さい。
※ 37.5度以上の発熱（または37.5度未満でも平熱より高い場合）、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 等
- 公演関係者の感染予防対策
 - 2023年3月13日（月）以降、公演関係者のマスク着用については基本的には個人の判断を尊重し、一律的に着脱を強いるものではありません。一方で、催事内容や施設利用等の特性により、高齢者などのハイリスク者が多い場合など感染リスクが高い状況が想定される際には、必要に応じてマスク着用を推奨してください。
 - 関係者に対しアルコール消毒液による手指消毒や咳エチケットの推奨をお願いします。
 - 控室等をご利用の場合は、スペースに応じた適切な換気をお願いします。
※ 1時間ごとに10分以上の換気を目安として、可能な場合は常時換気をお願いします。
 - 利用方法に応じ、人と人が触れ合わない程度の距離を確保するとともに、長時間の大きな声での会話の抑制を図ってください。
 - 体調や気分が悪くなった場合、速やかに帰宅していただきますようお願いします。
（舞台スタッフ・窓口へ必ずご報告下さい）

■ 公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合） チェックリスト【続き】

必ず確認してください

● 公演関係者の食事とケータリング

- 可能な限り、全ての食事は表面の汚染を防ぐ方法を用い、1回分ずつ分けて配布していただくことを推奨します（個別の弁当等）。また、全ての飲料は1回分用の容器に入ったボトルや缶で提供いただくことを推奨します。
- ビュッフェ形式での食事の提供はご遠慮下さい。

● 公演当日

- 2023年3月13日（月）以降、来場者に対するマスク着用については基本的には個人の判断を尊重し、一律的に着脱を強いるものではありません。一方で、催事内容や施設利用等の特性により、高齢者などのハイリスク者が多い場合など感染リスクが高い状況が想定される際には、必要に応じてマスク着用を推奨してください。
- 公演の前後及び公演の休憩中に会場内の換気をお願いします。可能な限り公演中も定期的に換気を行って下さい。（目安として1時間ごとに10分以上の換気を推奨します）
- 入場待機列が密とならないよう、ゆとりを持った間隔で整列させて下さい。
- 展覧会・販売会等、小部屋を会場とし集客する場合、密とならないよう、混雑を回避するための方策を講じながら運営して下さい。
- 会場の入口に消毒液を設置し、お客様へ手指消毒の推奨を行って下さい。（公演時の設置準備は主催者様負担でお願いします）
- 入場時のチケットもぎり係は、可能な限りマスクを着用を推奨します。また、来場者自ら半券を切り箱に入れ、もぎり係がそれを目視で確認するといった方式で、来場者と接触しないよう工夫して下さい。
- 入場前または入場時において、公演スタッフによる来場者の検温を実施していただくことを推奨します。
- パンフレット・チラシ等の折込み物は、手渡しによる配布を極力避けて下さい。また、アンケート等を取得される場合は、都度、筆記用具類を消毒できる環境を整えて下さい。（使い捨てのスコアペンなどでご対応いただくことを推奨します）
- 展覧会・販売会等で来場者の個人情報を取得される場合（芳名帳への記入等）、都度、筆記用具類を消毒できる環境を整えて下さい。（使い捨てのスコアペンなどでご対応いただくことを推奨します）

● 感染が疑われる方が発生した場合の対応

- 感染が疑われる方が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行って下さい。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底して下さい。
- 濃厚接触者全ての氏名・連絡先を把握して下さい。
- 速やかに施設スタッフへ報告し、その後の指示を受けて下さい。
- 本ガイドラインに定めのない事項や、判断のつきにくい事項があった場合、必ず施設スタッフへご相談いただき、指示を受けて下さい。

■ 公演型（ホール本番・展覧会・販売会等、不特定多数の集客がある場合）
チェックリスト【続き】

| | | | |
|----------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------|
| 団体名 | | | |
| 関係者数 | 名 | 来場予定数 | (延べ) 名 |
| 利用日時 | ※ 準備・本番会期（開場・開演・終演）・撤収等の日時を詳しく記入して下さい | | |
| 利用施設 ○を付けて 下さい | 大ホール客席 | 1階席 ・ 全席 | |
| | 大ホール舞台 | 素舞台 ・ 幕舞台 ・ 反響板 | |
| | 大ホール楽屋 | アーティストルーム 1 2 3 4 5 | |
| | 市民会館小部屋 | 多目的室 1 2 3 リハーサル室 1 2 レストラウンジ | |
| | 中ホール客席 | 全席 | |
| | 中ホール舞台 | 素舞台 ・ 幕舞台 ・ 反響板 | |
| | 文化センター小部屋 | 展示室 音楽室 リハーサル室 練習室 A 練習室 B 創作室 | |

本チェックリストにある条項を遵守した上で利用します

利用代表者（自署）

係

| |
|--|
| |
|--|

■ 施設の取り組み

● 施設内全般

- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を適宜行います。また、施設内の換気について十分な対応をとります。
- 施設入口に手指消毒用の消毒液を設置し、不足が生じないように定期的な点検を行います。

● ロビー・休憩スペース

- 窓等を定期的に開放し換気に努めます。
- 椅子やテーブル等、利用者が触れる物品の消毒を適宜行います。

● トイレ

- 不特定多数の方が接触する場所は、清掃・消毒を適宜行います。
- 洋式トイレをご利用いただく方に対し、蓋を閉めて汚物を流すよう、POP等の表示で促します。
- 飛沫防止のためハンドドライヤーを停止し、ペーパータオルの設置を行います。また、不足が生じないように定期的な点検を行います。

● 受付業務

- 受付窓口には飛沫防止の亚克力板を設置し、それを隔てて対応します。
- 受付窓口には、ロビー側・事務室側それぞれに消毒液を設置します。スタッフが対応する際には必ず手指の消毒を行い、また、利用者様にも手指の消毒の実施を促します。
- 各室の鍵・貸出し物件・備品は、適宜消毒します。
- 月初めの一斉受付については、当面の間、対面受付を中止し電話のみでの受付とします。

● 舞台業務

- 舞台仕込みの際、設営スタッフ同士が密接・密集しないよう注意を払います。また、通常より余裕を持ったスケジュールで準備します。
- 備付け物件については適宜消毒します。
- 舞台に関係する工具（個人の工具含む）は、スタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。
- 作業時に着用するヘルメットやハーネスはスタッフ間で使い回ししないよう注意を払います。
- 利用者様が密にならないよう、人と人が触れ合わない程度の距離を確保してもらうよう促します。
- 利用者様との打合せは出来る限り広い空き室（又は舞台上）で、ゆとりをもった距離を確保し対応します。
- 飛沫が起りやすい吹奏楽・管弦楽・合唱・ダンス・バレエ等については細心の注意を払い、利用方法・利用人数・立ち位置等のアドバイスを積極的に行います。

■ 施設の取り組み【続き】

● 清掃業務

- 清掃用具は常に清潔に保ちます。また、布巾・雑巾は長期間使い回しせず、出来る限り短い期間で交換します。
- スタッフは1作業ごとにこまめな手洗いを行います。
- 生ゴミや汚物等の処理の際、スタッフの衣服が汚れた場合はすみやかに交換します。また、処理の際に使用する雑巾等は必ず廃棄します。
- 施設内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒を適宜行います。

● 全スタッフの体調管理

- 出勤前に自宅での検温・体調の確認を行い、以下の症状がある場合には出社しません。以後、状況に応じて自宅待機等の対応を取り、経過観察を行います。
※ 37.5度以上の発熱(または37.5度未満でも平熱より高い場合)、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等
- また、前述と同様の症状を持つ方が同居者に居る場合、スタッフ本人においても経過観察を行います。

● スタッフの感染予防対策

- 2023年3月13日(月)以降も当面の期間、全てのスタッフは勤務中のマスクの着用を義務づけます。
- スタッフはこまめに手洗いや手指消毒を行います。
スタッフのユニフォームや衣服はこまめに洗濯します。
- 従事中、気分が悪くなったり発熱した場合は途中退社し、以後経過観察を行います。

● スタッフの管理・指揮系統

- 各セクションチーフを下記の通り定め、直属スタッフの体調管理・監督を行います。
総務グループ 西村 恵子
舞台グループ 工藤 拓也
清掃グループ 工藤 敏明
統括管理者 谷山 芳明、竹内 恭平

■ ガイドライン追記事項

【1】マイクのご利用について

- 参加者間でマイクの使い回しが想定される場合、都度、マイクおよびマイクスタンドの消毒を徹底して下さい。また、話者は可能な限りマスクの着用を推奨します。

ご注意とお願い

本件は、弊館として複数名でのマイクの使い回しを推奨するものではありません。全国の事例において、マイクを介してのウイルス感染も確認されていることから、弊館では、「話者1名に対してマイク1本」でのご利用を推奨いたします。

【2】演出上、手つなぎ・身体が触れ合う場合

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、舞台上の演者同士であっても、「手つなぎ」「身体が触れ合う」等の行為をご遠慮いただいているところです。

但し、「手つなぎ」「身体同士が触れ合う」等が認められない場合に、公演そのものが成り立たないものについては(例：バレエ、ダンス等)、より一層の感染症対策を講じていただくことを条件に、個別にヒヤリングをさせていただいた上で、「手つなぎ」「身体同士が触れ合う」等を認める場合がございます。詳しくはお問合せ下さい。

【3】賞状・贈呈品等の授与について

- 1. 授与の際に会話に伴う場合は、必要最低限のセリフをお願いします。
2. 授与の際の握手はご遠慮下さい。
3. 可能な限り、渡す方・受取る方の両者はマスクの着用を推奨します。

※「名刺交換会」等、類似するものについても本ルールに沿って実施して下さい。

ご注意とお願い

本件は、弊館として「賞状・贈呈品等の授与(手渡し)」を推奨するものではありません。可能な限り直接の手渡しはせず、例として「賞状盆を介して間接的に授与する」等、リスクの少ない方法で実施いただきますよう、お願い申し上げます。

【4】ホール公演時の集合写真撮影について

- 1. 整列の際は隣同士の肩や腕が密着しないよう間隔を取って下さい。
2. 撮影中の会話は必要最小限とし、かつ短時間で終わられるよう心がけて下さい。
※シャッターを切る際の掛け声はご遠慮下さい。
3. 撮影前後は可能な限りマスクの着用を推奨します。

ご注意とお願い

本件は、弊館として集合写真撮影を推奨するものではありません。集合写真撮影を実施される場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、より一層の意識をお持ちになり、上記ルールをお守りいただいた上で、実施いただきますよう、お願い申し上げます。